		計画コード	事業名	部名		財務部				
# (I)		02225-1	行政改革推進費	М	包名	財政行革室				
本	施	基本施策の大	<b>岡</b> 06:行政経営	財	会計	一般会計				
	策	基本施策	01:自立した行政経営の推進	務	款	総務費				
ा	体	施策の方向	04:行財政改革の推進	科	項	総務管理費				
	系	戦略プロジェクl		田	目	一般管理費				

市民·市職員 対象 目

Ĭ

概要 要

概

開かれた市政の推進と行財政運営の強化に向け、第2次亀山市行財政改革大綱を策定し、同前期実施計画に掲げ 的 る実施事業の進捗を適切に管理することで、着実に行財政改革の推進を図る。

行財政改革推進本部による第2次亀山市行財政改革大綱の策定及び進捗管理を行う。

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画の策定を行う。

			27年度	28年度	
	名称		計画値実績値		
(	補足	会議の開催回数		4	2
	т		単位	□	□
	名称	行財政改革統括管理委員会及び管理委員会の開催	計画値		
3	補足	会議の開催回数	実績値	8	11
③ 指	тн		単位	□	□
標	名称	行政改革推進委員会の開催	計画値		
	補足	会議の開催回数	実績値	2	3
	т		単位	口	口
	名称	公共施設等総合管理計画検討委員会の開催	計画値実績値		
(2	補足	会議の開催回数		2	3
	тн		単位	□	口

## 年度計画 年度実績 行財政改革統括管理委員会、管理委員会、行政改革推進本部 会議を開催し、進捗率の悪い取組や担当室では判断が行いにく い取組について、検討を行った。 前期実施計画に掲げる116の取組を着実に推進するため、行政 改革推進委員会(外部委員会)を開催した。通常の会議に併せ、 外部委員から担当部局長への取組に関する事項の直接的ヒアリ 4 ングも行い、推進にあたった。 事業 公共施設等総合管理計画について、3回の検討委員会と統括管 理委員会、管理委員会を行い、平成29年3月に策定した。 の 計 5.858 予算額 決算額 総人件費 計画額 画 事業費 499 256 -般職員人件費 (2) 5.858 平均給与額×③ 国庫支出金 所要人員 (3) 0.80 実績 費 県支出金 臨時職員人件費 **4**) 事 地方債 受益者負担額 **(5)** 業 その他 受益者負担率 0.0% (5) 6 -般財源 499 256 再 翌年度への繰越額 U 掲前年度からの繰越額 0 総人件費 5.858 (1) 6,114 コスト **6**)

## 【事業の成果】

総合判定

第2次亀山市行財政改革大綱前期実施計画に掲げる116の取組を推進するため、各会議及び委員会を開 催した。内部会議については、判断が難しく、進捗が硬直している取組に対して支援を行った。外部委員会 (行政改革推進委員会)については、委員が取組責任者へ直接ヒアリングを行い、推進に対するアドバイ ス・助言を行った。その結果、平成29年度予算へ反映出来た取組もあった。



公共施設等総合管理計画については、内部会議で記載事項の議論を外部会議で評価を行い、策定に向け て会議を重ね、平成29年3月に策定を行えた

順調に進んだ

## **5** 【反省点·課題】

計画又は実績報告の提出用シートだけでは、各年度の進捗状況及び取組全体の進捗状況が判断しづらいため、提出用 シートの様式変更が必要と考える。

進捗状況や問題点等を密に把握するためには担当室とのさらなる協議が必要となる。

公共施設等総合管理計画については、財政状況の今後の見通しや全庁的な今後の方針を決定するのに多大な時間を要 し、今後も各担当室への助言や協議が必要になる。(平成29年度から事務が契約管財室へ異動)

## 【改善の方向性】

現在の取組進捗状況が明確になるようなシートを作成する。

計画に掲げた取組のうち部内での調査や検討にとどまったものや国の動向等に影響されるものなど、順調に進まなかったものについ ては、取組責任者ヒアリングを行って進捗状況や課題を共有する必要がある。

担当室のみでは困難な取組は、行財政改革推進本部会議で協議を行うなど、オール市役所でスピード感を持って取り組んで行く。

事業目的の妥当性: 適切 有効性: 適切 最終評価確認者: 財政行革室長 田中 直樹